

アリーナ機能の絞り込みチェックシート

※現時点で有識者会議、競技団体へのヒアリングでいただいたご意見を記載（下線は第3回会議で新たにいただいたご意見）

施設 (ご意見のあったもの)	現市民体育館			アリーナコンセプト			ニーズ	の影響	整備無し	評価	主要機能			利用者 増加	コスト	評価	詳細機能			利用者 増加	コスト	評価	運営			利用者 増加	コスト	評価						
	機能・規模			健康	交流	防災					必要面積	観客席	床				天井	空調	照明設備				壁・窓等	音響・映像設備	ステージ				備品	その他				
メインアリーナ	【主競技場】 面積：1,425㎡（37.5m×38m） （バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球台24台、テニス2面、その他室内競技各種）										必要面積	・競技（大会・練習）に必要な面積 ・青森ワッツの試合ができる ・市民体育館よりコンパクトな施設 ・避難者を収容できる	資料3参照																					
	収容人数：3,500人 うち固定席800人、 移動椅子席2,500人、 立見席200人 ※ステージのみの催事の場合										観客席	・競技（大会）に必要な席数 ・青森ワッツの試合ができる ・市民体育館と同程度 ・観客席は少なくともよい ・5,000席必要 ・観客席と競技場が近く見やすい ・観客席が競技の邪魔にならない	資料3参照	○	△	○				・非常口の数が十分 ・観客席から競技場への非常階段4つ以上 ・観客席を一周できる														
	フローリング：厚さ18mm										床	・耐久性の高い床材（土足・フットサル・野球ボール・少林寺拳法武器で傷つかない） ・弾力性のある床材、スプリング入り床材 ・スプリング入り床材でなくてもよい ・通常の床で良い	○	△	○	×	×	×	・ラインが引いてある ・ラインが引いていない ・床面が濃色（白くない） ・鉄棒を立てる杭															
	なし（鉄骨あらわし）										天井	・天井が高すぎない ・天井が低すぎない	資料3参照																					
	冷房なし 蒸気暖房（天井）（ファンコイル） 風量調整不可										空調	・風の影響を受けない ・下まで空調が届く ・十分な冷暖房	○	△	○	○	△	○	・風量を調整できる															
	水銀灯（メタルハライド） オートリフターなし			○	○	○	○	○	○	○	照明設備	・競技（大会・練習）に必要な照度 ・照明が目に入らない ・市民体育館と同程度の照度（特別な仕様なし） ・LED照明を使用																						
	壁：樺ベニヤ、厚さ12mm、塗装 白系 窓：アルミサッシ（暗幕あり）										壁・窓等	・壁面が濃色（白くない） ・窓に暗幕がある ・日光が窓から入らない ・壁を保護するネット ・壁の素材は何でも良い																						
	音響設備：小・中学校の体育館クラスの放送設備 映像設備：なし										音響・映像設備	・大型ビジョンの設置 ・コンサートを開催できる音響	○	×	△	○	△	○	・放送設備の充実 ・室外の音（騒音）が入ってこない ・非常用の情報通信設備															
	ステージあり（本部席）										ステージ	・本部席、表彰式で使用できるステージ	○	△	○				・ステージ昇降階段に手すりを設置															
											備品	・大型備品の保管場所 ・防災倉庫の設置	○	△	○	-	-	○	・競技（大会・練習）に必要な備品 ・サブアリーナに運搬しやすくメインアリーナを 通らなくてよい用具庫 ・障害者スポーツ用具 ・置の入れ替えがしやすい ・置がずれない ・ネットが設置しやすい ・非常用の発電機 ・避難時に宿泊できる															
										その他	・イベントを開催できる	○	△	○				・非構造部材の耐震対策				・冬場だけの利用でもよい（ソフトテニス）												

アリーナ機能の絞り込みチェックシート

※現時点で有識者会議、競技団体へのヒアリングでいただいたご意見を記載（下線は第3回会議で新たにいただいたご意見）

施設 (ご意見のあったもの)	現市民体育館		アリーナコンセプト			ニーズ	整備 の影 響無 し	評価	主要機能	利用 者 増 加			コスト	評価	詳細機能	利用 者 増 加			コスト	評価	運 営	利用 者 増 加			コスト	評価	
	機能・規模	健康	交流	防災	利用 者 増 加					コスト	評価	利用 者 増 加				コスト	評価	利用 者 増 加				コスト	評価				
サブアリーナ 多目的ルーム 会議室等	【体育室①】 面積：459㎡(15.3m×30m) (バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン4面 他)	○	○	○	△	△	△		・競技(練習)に必要な面積 ・大会時にウォーミングアップできる施設 ・複数の競技が同時に利用できる ・大会時の練習場は不要 ・スプリング入り床材 ・畳を常設 ・サブアリーナにも暖房設備 ・サブアリーナにも観客座 ・鏡や棒のあるスタジオ ・子どもも利用できる多目的ルーム ・大会時の控室、会議室等が必要	○	△	○	資料3参照	○	△	○	・吊り下げたロープ(トレーニング用) ・災害時に畳を利用できる部屋 ・プロジェクターやスクリーンのある研修室 ・鏡や棒のあるスタジオ										
トレーニング ルーム等	【トレーニング室】 面積：134.4㎡(16m×8.4m)	○	○	△	△	△	△		・冬場のトレーニング施設が必要 ・ジョギングコースが必要	○	△	△		○	△	○	・有酸素運動のためのマシン ・階段のないジョギングコース ・一周200～250mのコース								・速度制限のないジョギングコース ・民間企業の運営に配慮する ・元気なお年寄りがトレーニングできる		
キッズルーム等	【幼児体育室】 面積：105.6㎡(16m×6.6m)	○	○	△	○	△	○		・キッズスペースの充実 ・親子で色々な遊びができる機能	○	△	○		○	△	○											
ロッカールーム・ シャワールーム	【ロッカールーム(選手用)】 ホーム：63.1㎡、アウェイ：30.7㎡ 【ロッカールーム(一般用)】 男子：40.6㎡、女子：33.0㎡ 【シャワー室】 男子：20.3㎡、女子：18.5㎡	△	△	○	△	△	○		・更衣室、シャワー室が必要	○	△	○															
エントランス	【エントランス】 面積：310㎡	△	○	△	△	△	△										・冷暖房が必要 ・雪でふさがれない										
トイレ	【1F】 男2箇所(和6・小7)、 女2箇所(和8)、 多機能1箇所、幼児1箇所 【2F】 男4箇所(和8・小8)、 女4箇所(和8) 【3F】 男1箇所(和3・小4) 女1箇所(和3)	○	○	○	○	○	○		・トイレ(特に女子トイレ)の数が十分必要 ・非常用のトイレ	○	△	○		○	△	○	・洋式のトイレ ・スリッパに履き替えなくてよい(大きいスリッパ)										
駐車場	【駐車場】 面積：約2,600㎡ (普通車90台(大型兼用))	△	○	○	○	○	○		・駐車場の数が十分必要 ・大型バスが駐車できる	○	△	○		○	△	○											

【①必要な施設の絞込み】

○施設種別：メインアリーナ

資料 2

○施設種別：サブアリーナ・多目的ルーム・会議室等

視点		評価	
現有施設		面積：1,425㎡（37.5m×38m） バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球24台、テニス2面等 収容人数：3,500人（固定席800人、移動椅子席2,500人、立見席200人）	
コンセプト	健康	スポーツの実施機会を確保することで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	スポーツを通じて市民とアスリートの交流が期待できる。また、大会等の開催時には市外からの来客があり、周辺への経済効果も期待できる。	○
	防災	青い森セントラルパークは現在指定緊急避難場所として指定されているが、指定避難所としても利用が可能となる。なお、指定避難所として指定するかは今後の検討となる。	○
利用ニーズ		現在の市民体育館の主競技場は平成28年度の利用率が82%（昼間（10時～16時）では92%）となっており、利用ニーズは高い。	○
整備しない場合の影響		現在の市民体育館が老朽化により使用できなくなった場合、現在の利用者を全て他施設で受け入れることは難しい。（年間利用者数：約82,000人 平成28年度）	○
総合評価			○

視点		評価	
現有施設		【体育室①】面積：459㎡（15.3m×30m）（バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン4面 他） 【体育室②】面積：198.4㎡（16m×12.4m）（フォークダンス、民謡・軽体操、卓球台5台） 【体育室③】面積：264㎡（12m×22m）（卓球台7台） 【研修室】面積：100.8㎡（60人収容）	
コンセプト	健康	メインアリーナを大会等で使用する際にもスポーツの実施機会を確保することで、市民の健康増進に寄与する。また、スタジオプログラム（講座）等を実施することにより、スポーツ人口の拡大も期待できる。	○
	交流	大会や練習のほか、会議や研修などでの利用も想定されることから、参加者・利用者間の交流が期待できる。	○
	防災	災害時には、救援物資の保管や事務作業など、多用途での使用が想定できる。	○
利用ニーズ		現在の市民体育館の第1体育室は平成28年度の利用率が81%となっており利用ニーズは高い。一方、第2体育室（64%）、第3体育室（50%）、研修室（6%）については余裕が見られることから、部屋数や面積については検討が必要である。	△
整備しない場合の影響		大会時のウォーミングアップや運営のための諸室として使用されることも想定されることから、メインアリーナから離れた他施設で代替することは難しい。ただし、部屋数や面積については検討が必要である。	△
総合評価		必要性は高いが、部屋数や面積については検討が必要である。	△

【①必要な施設の絞込み】

○施設種別： トレーニングルーム等

視点		評価	
現有施設		【トレーニング室】 面積：134.4㎡(16m×8.4m)	
コンセプト	健康	冬期間においても運動ができる環境を提供することで、通年で運動する人口の増加が期待できる。	○
	交流	フィットネスプログラム（講座）などを実施することにより、参加者・利用者間の交流が期待できる。	○
	防災	長期避難の場合には、避難者の健康維持が期待できるが、防災上の役割は大きくない。	△
利用ニーズ		現在の市民体育館のトレーニング室は、平成28年度実績で、年間利用者が約7,000人、1日平均で約20人で利用ニーズはあるものの、利用状況に余裕があるため、安定した利用者数の確保については検討する必要がある。また、近隣には高校があることから、部活動を行っている生徒の利用が期待される。	△
整備しない場合の影響		メインアリーナ等を使った競技の練習やトレーニングなどと併せて利用されることも想定されることから、メインアリーナ等から離れた他施設で全てを代替することは難しいが、民間事業者が運営する施設もあることから、これらも考慮する必要がある。	△
総合評価		安定した利用者数の確保や民間事業者の運営への配慮などを考慮した規模の検討が必要である。	△

資料 2

○施設種別： キッズルーム等

視点		評価	
現有施設		【幼児体育室】 面積：105.6㎡(16m×6.6m)	
コンセプト	健康	冬期間にも子どもが遊べる環境を確保することにより、子どもの健康増進に寄与する。また、プログラム（講座）を実施することにより、親子で運動を行うことも期待できる。	○
	交流	子ども同士の交流はもとより、子どもを通じた親同士の交流も期待できる。	○
	防災	災害時に避難している子どもの遊び場として利用できるが、防災上の役割は大きくない。	△
利用ニーズ		現在の市民体育館の幼児体育室は、平成28年度の実績で年間利用者が約4,600人、1日平均約12人で特に冬季間は利用ニーズはあるものの、面積狭小により運動スペースや遊具を十分に確保することが困難であることや、冷房が完備されていないことで夏場の利用環境が不十分となっていることから、安定して利用者数を確保するため、必要な面積や季節や天候に左右されずに利用できる環境についても検討する必要がある。 また、平成30年第2回市議会定例会において、「子どもの遊び場づくりに関する請願」が採択されていることなどからも、利用ニーズは高いと考えられる。	○
整備しない場合の影響		子どもたちが季節や天候に左右されずに利用できる施設が減少する可能性もあるが、既存施設との役割分担については、検討する必要がある。	△
総合評価			○

【①必要な施設の絞込み】

○施設種別：ロッカールーム・シャワールーム

視点		評価	
現有施設		【ロッカールーム（選手用）】 ホーム：63.1㎡、アウェイ：30.7㎡ 【ロッカールーム（一般用）】 男子：40.6㎡、女子：33.0㎡ 【シャワー室】 男子：20.3㎡、女子：18.5㎡	
コンセプト	健康	市民の健康増進に直接影響を与えるものではない。	△
	交流	市民交流に直接影響を与えるものではない。	△
	防災	ロッカールームは避難者の貴重品保管等での利用が想定される。また、災害時に利用可能なシャワールームが設置できれば、避難所の環境の向上に寄与する。	○
利用ニーズ		現市民体育館の利用者において、ロッカールームやシャワールームは恒常的に利用されているが、統計がないため、具体的な利用状況については、不明である。	△
整備しない場合の影響		より快適な利用環境を提供するものであるが、施設利用に直接影響を与えるものではない。	△
総合評価		市民の健康増進に直接つながるものではないが、防災上必要な施設である。	○

資料 2

○施設種別：エントランス

視点		評価	
現有施設		【エントランス】 面積：310㎡	
コンセプト	健康	市民の健康増進に直接影響を与えるものではない。	△
	交流	利用者はエントランスを通して諸室へ移動することから、様々な人の交流が期待される。また、大会やイベントの開催時には人だまりが生まれ多くの交流が期待できる。	○
	防災	災害時の情報掲載場所などとしての利用も想定されるが、防災上の役割は大きくない。	△
利用ニーズ		大会やイベント開催時には一定の空間が必要になる。広さに関しては、開催が想定される大会やイベントに応じて、検討が必要になる。	△
整備しない場合の影響		エントランスに一定の空間がなければ、大会やイベントの開催時に混雑が大きくなることが予想される。	△
総合評価		大会やイベントの開催を考慮すれば必要な施設であるが、通常時の活用について検討が必要である。	△

【①必要な施設の絞込み】

○施設種別： トイレ

視点		評価	
現有施設		【1F】 男2箇所（和大6・小7）、女2箇所（和8）、多機能1箇所、幼児1箇所 【2F】 男4箇所（和大8・小8）、女4箇所（和8） 【3F】 男1箇所（和大3・小4）、女1箇所（和3）	
コンセプト	健康	快適にスポーツができる環境を提供することで、利用者数やスポーツ実施人口の増加が期待できる。また、多機能トイレを設置することにより、障がい者のスポーツ環境の向上につながる。	○
	交流	利便性が向上することで、利用者数やスポーツ実施人口が増加し、利用者同士の交流が期待できる。	○
	防災	災害時でも利用可能なトイレが設置できれば、避難所の環境の向上に寄与する。	○
利用ニーズ		日頃の一般利用から大会やイベント開催時まで常時一定数の利用がある。特に大会やイベント開催時においては、女性用トイレが混雑することが多いなど、男女別の利用ニーズにも考慮した検討が必要である。	○
整備しない場合の影響		トイレの数が不足することにより大きな混雑が生じた場合、利用者の利便性が低下するほか、大会やイベントの運営などにも影響を及ぼす可能性がある。	○
総合評価			○

資料 2

○施設種別： 駐車場

視点		評価	
現有施設		【駐車場】 面積：約2,600㎡ （普通車90台（大型兼用））	
コンセプト	健康	市民の健康増進に直接影響を与えるものではない。	△
	交流	利便性が向上することで、利用者数やスポーツ実施人口が増加し、利用者同士の交流が期待できる。	○
	防災	大型車両にも対応可能とすることで、災害時における物資輸送にも対応可能となる。	○
利用ニーズ		青森市内では自動車の分担率が高いことから、駐車場の利用ニーズは高い。なお、練習などの定期的な利用や、大会やイベント開催時、施設を管理する職員など、それぞれ利用の様態が異なることを踏まえ、駐車場の規模や配置を検討する必要がある。	○
整備しない場合の影響		公共交通機関を利用しない方の来館が不便となるなど、利用者の利便性が低下する。 また、大会やイベント開催時、災害時などの資機材の搬入などに影響を及ぼす可能性がある。	○
総合評価			○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：メインアリーナ

資料 2

主要機能		視点				総合評価 (対応方針)	
		利用者の増加		コスト			
必要面積	・競技（大会・練習）に必要な面積	(資料3参照)		(資料3参照)		(資料3参照)	
	・青森ワッツの試合ができる						
	・市民体育館よりコンパクトな施設						
	・避難者を収容できる						
観客席	・競技（大会）に必要な席数	(資料3参照)		(資料3参照)		(資料3参照)	
	・青森ワッツの試合ができる						
	・市民体育館と同程度						
	・観客席は少なくてよい						
	・5,000席必要						
・観客席と競技場が近く見やすい	観戦しやすい施設となることで、利用増加が見込める。	○	ロールバックチェアを設置した場合はコスト増となるが、仮設席の設置作業の時間は短縮できる。	△	一定のコスト増はあるものの、効率化にもつながることから、ロールバックチェア等の活用により、観戦しやすい環境を確保することとする。	○	
・観客席が競技の邪魔にならない	競技者へ配慮した施設となることで、利用増加が見込める。	○	観客席と競技者の離隔を一定程度とることにより施設面積が大きくなる場合はコスト増となる可能性がある。	△	競技者にとって危険とならないことは最低限必要であることから、各競技で定められた離隔等を踏まえた施設配置とする。	○	
床	・耐久性の高い床材 (土足・フットサル・野球ボール・少林寺拳法武器で傷つかない)	利用可能な競技が増えることにより利用者数の増加が見込める。	○	床の材質によってはコスト増となる可能性があるが、耐久性があることにより維持管理コストが下がる可能性もある。	△	維持管理の観点も踏まえ、床材については耐久性を考慮することとするが、具体的な材質については引き続き検討する。	○
	・弾力性のある床材、スプリング入り床材	スプリング入り床材とした場合、利用できる競技が限られることから、利用者が減少する可能性がある。	×	通常の床材に比べてコストの増加が見込まれる。	×	スプリング入り床材は大会実施の必要要件となっていないことから、設置しないこととする。	×
	・スプリング入り床材でなくてもよい		-		-	上記により対応できている。	-
	・通常の床でよい		-		-	上記により対応できている。	-

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：メインアリーナ

資料 2

主要機能		視点				総合評価 (対応方針)	
		利用者の増加		コスト			
天井	・天井が高すぎない	(資料3参照)		(資料3参照)		(資料3参照)	
	・天井が低すぎない						
空調	・風の影響を受けない	風に影響されやすい競技での利用増加が見込める。	○	空調の配置の工夫のみであれば大きなコスト増にならないが、特殊な空調を使用する場合はコストが大きくなる可能性がある。	△	風の影響が小さくなるような配慮は必要であるが、特殊な空調を使用することについてはコスト面で引き続き検討が必要である。	○
	・下まで空調が届く ・十分な冷暖房	快適な競技環境、観戦環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	空調の配置の工夫のみであれば大きなコスト増にならないが、空調の出力を大きくする場合にはコストが増加する。	△	競技等で要求される室温を維持できるように配慮するが、室温が目標に達するまでに要する時間の短縮については、コスト面で引き続き検討が必要である。	○
照明設備	※詳細機能に関するご意見については今後整理						
壁・窓等							
音響・映像設備	・大型ビジョンの設置	大会やイベントにおいて多様な演出が可能となることから、利用増加が見込める。	○	コスト増が見込まれる。	×	大会やイベントにおける利用頻度が小さければ、使用料収入に対して導入コストが大きくなることから、設備の利用頻度を上げるような取組みを検討する必要がある。	△
	・コンサートを開催できる音響	コンサートにおいて多様な演出が可能となることから、利用増加が見込める。	○	コスト増が見込まれるが、その程度については求める水準によって異なることが想定される。	△	多目的利用を図るため、コンサートを開催できるように配慮することとするが、求める水準については引き続き検討する必要がある。	○
ステージ	・本部席、表彰式で利用できるステージ	大会運営を円滑にするほか、コンサート等での使用も想定されることから一定の利用増加が見込める。	○	固定のステージを設ける場合は床面積が増加するためコスト増加となるが、可動式のステージであればコストは比較的小さい。	△	固定のステージはコストが大きいため導入が難しいが、可動式のステージについては導入することとし、必要な規模については引き続き検討する。	○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：メインアリーナ

資料 2

主要機能		視点				総合評価（対応方針）	
		利用者の増加		コスト			
備品	・大型備品の保管場所	各種競技団体の大型備品を保管することで、継続的な利用が期待できる。	○	保管場所が大きくなれば建設コストが増加する。	△	大型備品の利用頻度が高い場合は、毎回運び入れることは負担が大きいことから、保管ができるスペースを確保する。	○
	・防災倉庫の設置	（利用者の増加に繋がるものではないが、防災上必要な機能である。）	－	（コストは増加するものの、防災上必要な機能である。）	－	指定避難所として必要である。	○
その他	・イベントを開催できる	イベントが開催できることで利用増加が見込める。	○	イベントの種類によってはコスト増となる可能性がある。	△	多様な種類のイベントがあることから網羅的な対応は困難であるが、他の項目について考慮することで、イベントに対しても一定の対応ができているものと考えられる。	○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：サブアリーナ等

主要機能		視点			総合評価 (対応方針)			
		利用者の増加		コスト				
	・競技（大会・練習）に必要な面積	(資料3参照)		(資料3参照)				
【体育室①】 面積：459㎡ 【体育室②】 面積：198.4㎡ 【体育室③】 面積：264㎡ 【研修室】 面積：100.8㎡	・大会時にウォーミングアップできる施設	競技者へ配慮した施設となることで、利用増加が見込める。	○	サブアリーナを整備するコストは必要であり、特別な機能を付加する場合には、コストが更に増加する。	△	サブアリーナを整備することとするが、必要な機能や面積については別途整理する。	○	
	・複数の競技が同時に利用できる							
	・大会時の練習場は不要							
	・スプリング入り床材	スプリング入り床材や畳とした場合、利用できる競技が限られることから、利用者が減少する可能性がある。	×			×	スプリング入り床材は大会実施の必要要件となっていないことから、設置しないこととする。	×
	・畳の常設							
	・サブアリーナにも暖房設備	快適な競技環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	空調の配置の工夫のみであれば大きなコスト増にならないが、空調の出力を大きくする場合にはコストが増加する。	△	競技等で要求される室温を維持できるように配慮する。	○	
	・サブアリーナにも観覧席が必要	小規模な大会で利用されることも考えられるが、メインアリーナと比べて、観客のある大会やイベントの開催が少ないと想定される。	△	床面積が増加し、コストが増加する。	×	観客のある大会やイベントはメインアリーナで実施することとし、サブアリーナに固定の観客席は設けませんが、観覧できるスペースについては、引き続き検討する。	△	
	・鏡や棒のあるスタジオ	ダンスなどで利用されることで、利用者の増加につながる。	○	床面積が増加し、コストが増加するが、会議室と兼用にすることで効率化を図ることができる可能性がある。	△	コストは要するものの比較的規模が小さく、運営面の工夫により利用頻度が高まることも想定されることから、鏡や手すり等の詳細な機能については引き続き検討する。	△	
	・子どもも利用できる多目的ルーム	子どもに特化した多目的ルームの利用者の増加は少ないと想定される。	△	コストが増加する。	×	子どもに特化した多目的ルームとして設けるのではなく、キッズルームの検討において配慮する。	×	
	・大会時の控室、会議室等が必要	円滑な大会進行が可能となることから、利用者の増加が見込める。	○	床面積が増加し、コストが増加するが、多目的ルームと兼用にすることで効率化を図ることができる可能性がある。	△	大会運営上必要となることから会議室等を設置することとするが、可能な限り多目的ルームと兼用にするなど、効率化を図ることとする。	○	

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：トレーニングルーム等

資料 2

主要機能		視点			総合評価 (対応方針)		
		利用者の増加		コスト			
【トレーニング室】 面積：134.4㎡ (16m×8.4m)	・冬場のトレーニング施設が必要	冬期間の利用者の増加が見込まれる。	○	コスト増が見込まれるが設置するマシンの種類や数によって程度が異なる。	△	トレーニングルームの規模や機能については、民間事業者が運営する施設にも配慮しながら検討する。	△
	・ジョギングコースが必要	冬期間は屋外でのジョギングが難しいことから、特に冬期間の利用者の増加が見込まれる。	○	専用の施設として整備する場合にはコスト増となるが、比較的利用の少ない観客席周囲の通路と共用とするなどの工夫により、コスト増は抑えられる。	△	ジョギングコースを設置することし、配置の工夫の可能性については引き続き検討する。	○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別：キッズルーム等

資料 2

主要機能		視点				総合評価 (対応方針)	
		利用者の増加		コスト			
【幼児体育室】 面積：105.6㎡ (16m×6.6m)	・キッズスペースの充実	施設の整備により多様な世代の利用が可能となり、利用者の増加が見込まれる。	○	コスト増が見込まれるが設置する遊具の種類や数によって程度が異なる。	△	キッズルームを設置することし、規模や機能については、引き続き検討する。	○
	・親子で色々な遊びができる機能						

【②主要機能の絞込み】

○施設種別： ロッカールーム・シャワールーム

資料 2

主要機能		視点			総合評価 (対応方針)		
		利用者の増加		コスト			
<p>【ロッカールーム (選手用)】 ホーム：63.1㎡、 アウェイ：30.7㎡</p> <p>【ロッカールーム (一般用)】 男子：40.6㎡、 女子：33.0㎡</p> <p>【シャワー室】 男子：20.3㎡、 女子：18.5㎡</p>	<p>・更衣室、シャワー室が必要</p>	<p>快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込まれる。</p>	○	<p>シャワールームの必要面積は、他の諸室と比べて小さい。</p>	△	<p>防災上も必要であることから、設置することとする。</p>	○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別： エントランス

資料 2

主要機能		視点				総合評価 (対応方針)	
		利用者の増加		コスト			
【エントランス】 面積：310㎡							
	※詳細機能に関するご意見については今後整理						

【②主要機能の絞込み】

○施設種別： トイレ

資料 2

主要機能		視点			総合評価 (対応方針)		
		利用者の増加		コスト			
【1F】 男2箇所 女2箇所 多機能1箇所 幼児1箇所 【2F】 男4箇所 女4箇所 【3F】 男1箇所 女1箇所	・トイレ（特に女子トイレ）の数が十分に必要	快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	コストはかかるが、観客席下などのスペースを有効活用することは可能。	△	トイレの数が十分でない場合、大会やイベントの運営に支障が生じる可能性もあることから、各競技の基準も参照した上で、必要なトイレの数を確保する。	○
	・非常用のトイレ	（利用者の増加に繋がるものではないが、防災上必要な機能である。）	-	（コストは増加するが、防災上必要な機能である。）	-	指定避難所として必要な機能である。	○

【②主要機能の絞込み】

○施設種別： 駐車場

資料 2

主要機能		視点			総合評価 (対応方針)		
		利用者の増加		コスト			
【駐車場】 面積：約2,600㎡ (普通車90台 (大型兼用))	・駐車場の数が十分必要	自動車で来館しやすくなることで、利用者の増加が見込める。	○	新たに用地取得が必要とされない範囲であれば、コストは小さいが、整備面積が増加すればコストは増加する。	△	利用者数や公共交通との分担を想定した上で、必要な駐車台数を確保する。駐車場の配置については、それぞれ利用の様態が異なることを踏まえて検討する必要がある。	○
	・大型バスが駐車できる	大会への参加者が利用しやすくなることで、利用者の増加が見込める。	○	新たに用地取得が必要とされない範囲であれば、コストは小さいが、整備面積が増加すればコストは増加する。	△	団体での利用が想定されることから、大型バスの駐車を考慮することとする。	○